



ピラミードたより

テーマ「水」
発達領域：世界の探索

①これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

浮くもの、沈むものについて確認しました。「しってる～。いしはしすむで～」
「ペットボトルはうくで」と水の中に入れる前から自信を持って答えていました。「ペットボトルにみずをいれたらどうなるかなあ？」と子どもたちは疑問を持ち、水を入れて試してみると「しずんでる」「みずがはいっておもくなったんや」と話していました。



③視野を広める(どうしてそうなるの)

水に小麦粉や洗剤、塩、高野豆腐を入れるとどのように変化するかを見たり、触ったりしました。水を含む前の高野豆腐を見て「これなに？」と言って触っていました。水をかけると水がなくなったのを見て「こうやどうふのなかにみずがはいった」と話していました。給食に高野豆腐が出てくると「おりょうりしたおみずでやわらかくなるんやなあ」と知ったことを、友だちに話していました。

みずがなかったら
こうやどうふって
かたいなあ。。



②具体的に体験する(見てみよう!)

雨上がりの園庭を散策しました。「おはながぬれてる」「なんかじめんがつめたい」と見たことや感じたことを話していました。地面に雨粒の模様ができているのに気づき、じょうろで雨を再現してみると、水の跡ができるのを見て「やっぱりあめのもようや」と話していました。泥んこ遊びで、泥団子を作ると「みずをいれたらかたまるで」と言ったり「みずたまりからみちをつくったらかわになる」など水を使っていろいろなものに見立てて、楽しんでいます。



④視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい!)

三原色の中から好きな色を選んで布を染めました。染めた後の水が透明になっていることに気づき「せんせ～びんくいろのみずやったのに、とうめいになってる」「なんで～？まほうや～」と疑問を持っていました。また、『よどがわ』の絵本を通して、琵琶湖の水が淀川を通過して、浄水場できれいになり家や保育園に届けられることを話すと「じょうすいじょうってすごいなー、すなとみずをわけてるん？」と興味を持っていました。

